

No.58

令和 2 年 5 月 1 日

☆えんがる

て議会だより

最後の思い出を胸に
瀬戸瀬保育所閉所式（P20 に続く）



遠軽町議会 LINE
はじめました！



QRコードを読み込んで

LINE 友だち追加

予算審査特別委員会一問一答
令和 2 年第 1 回定例会
ここが聞きたい！一般質問
委員会レポート
えんがるある話

新たなにぎわいが 芸術や交流を奏でる

遠軽町芸術文化交流プラザ
オープンに向けて！



3月定例会は、3月5日から13日まで9日間の会期が開かれました。

初日に町長は施政方針を表明し、総合計画の6つの基本方針に基づき主な施策を掲げました。

町長から提出のあった条例改正や補正予算など議案34件、同意1件、議員提出議案1件を審議し、原案のとおり可決しました。

また、12月定例会で民生常任委員会に付託されていた「遠軽町合葬墓条例の制定について」は、原案のとおり可とする報告がありました。

令和2年度の一般会計及び特別会計などの7会計は、予算審査特別委員会を設置し（委員長竹中裕志議員）、集中審議を行い、すべての予算を原案のとおり可決しました。



前田 篤秀 議長



今村 則康 副議長



秋元 直樹



阿部 君枝



一宮 龍彦



稲場 仁子



岩澤 武征

令和2年
第1回定例会
3月5日～13日



黒坂 貴行



佐藤 昇

16 議員が 慎重に審議



佐藤 登



高橋 義昭



竹中 裕志
予特委員長



前島 英樹



山本 悟

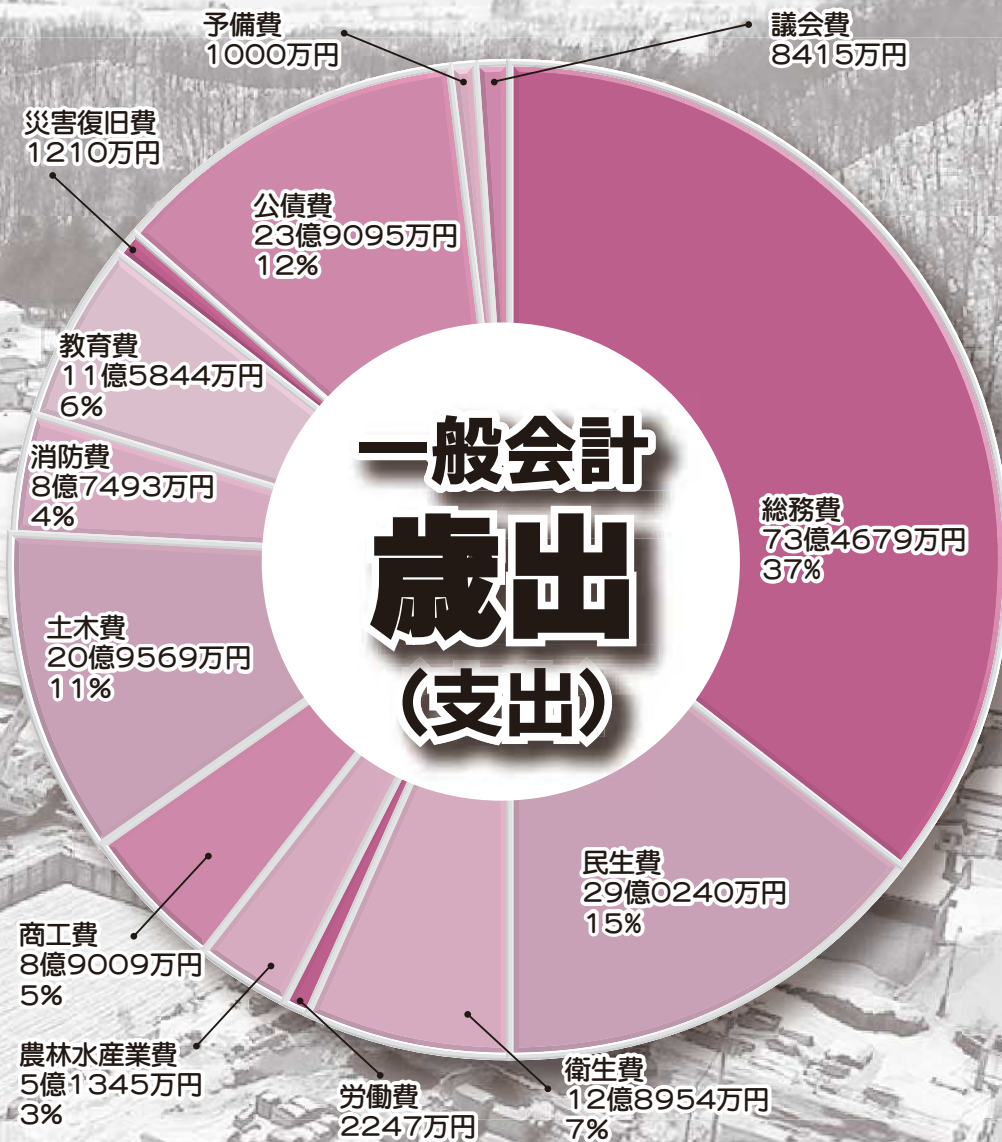


山谷 敬二



渡部 正騎

交流プラザ 関連予算 47億5680万円計上!!



3月5日から13日まで開催された第1回定例会会期中には、予算審査特別委員会（竹中裕志委員長）が設置され、令和2年度遠軽町一般会計を含む7会計の予算について、4日間にわたり審査した結果、本会議において全会一致で可決しました。令和2年度の建設事業で大きなものは、今年度完成を控える芸術文化交流プラザ建設工事などの

関連事業に約47億5680万円を計上しているほか、道の駅遠軽森のオホーツク整備事業や豊里地区営農雑用水を整備する経費等が計上されていて、投資的経費は前年比約63%の増、一般会計総額では約17%の増となっています。

（関連記事6～11ページ）

一般会計（歳出・歳入）

195億9100万円

【前年度対比 16.8%増】

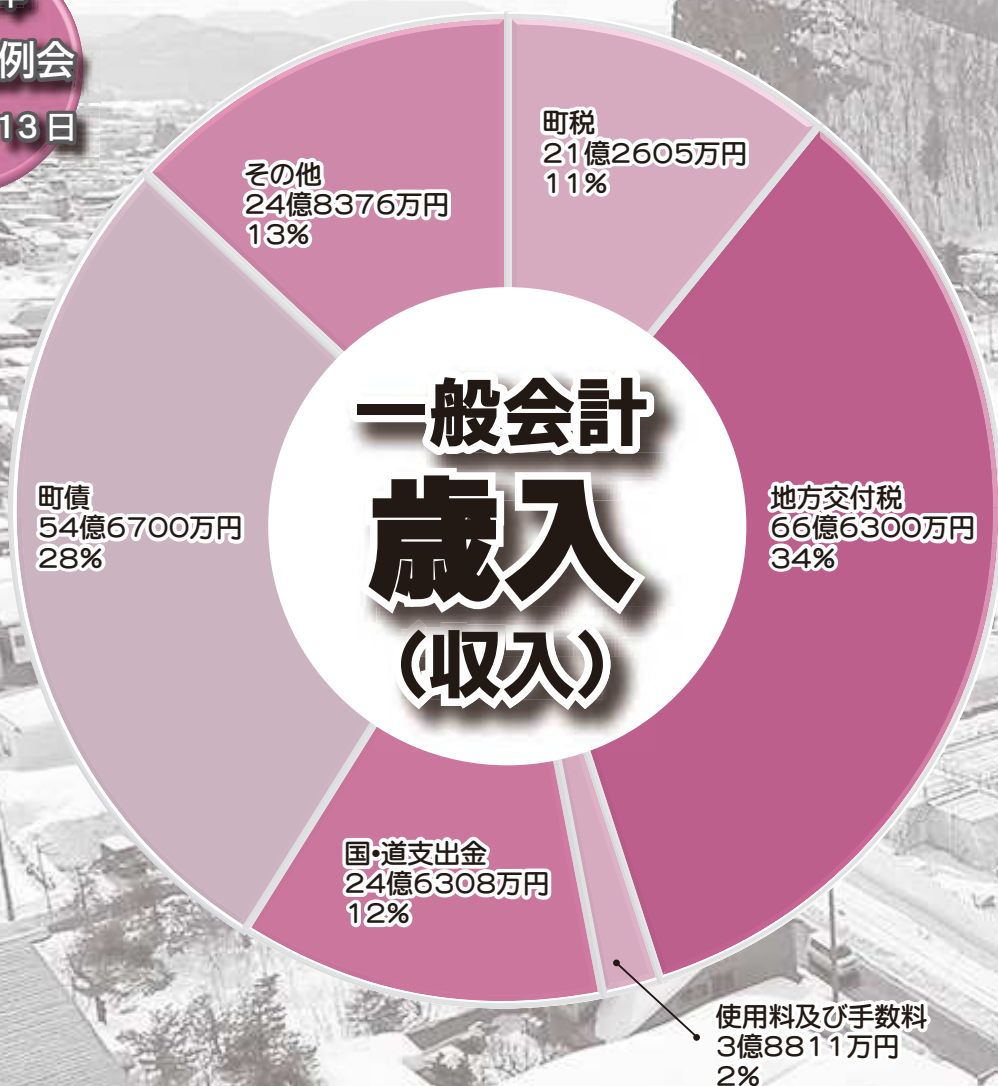
特別会計

国民健康保険事業	21億7561万円	【前年度対比 4.2%減】
後期高齢者医療	3億4370万円	【前年度対比 3.9%増】
介護保険事業	21億4838万円	【前年度対比 7.7%増】
個別排水処理事業	7731万円	【前年度対比 1.4%増】

令和2年度一般会計予算 オープンに向けて

芸術文化

令和2年
第1回定例会
3月5日～13日



歳出

「一般会計」は、町の基本的な仕事をするための予算です。歳出について令和2年度は前年度と比較して約28億1千8百万円増加しており、主な要因は、遠軽町芸術文化交流プラザ建設工事といった投資的経費の増加ですが、その他の主なものとして、道の駅遠軽森のオホーツク整備事業や豊里地区営農飲雑用水を整備する経費が計上されています。

歳入

歳入とは皆さんから納めていただいた町税、国や道から入ってくるお金であり、町の事業を実施するのに必要な財源です。

歳出と同じく前年度と比較して約28億1千8百万円増加していますが、町債については、地方債計画により、今年度計画している投資的事業等の財源として、また交付税の財源不足分に対処する金額を見込み計上されています。

予算の使い道は？

総務部①



○芸術文化交流プラザ整備事業

47億4533万円

- ・ 本体工事
- ・ 外構整備工事
- ・ 太陽光発電設備設置工事
- ・ 管理業務委託
- ・ 備品購入

○白滝総合支所庁舎外壁改修工事

770万円

- ・ 庁舎の外壁木部にある破損や腐食等を改修

職員の心身のケアも！

今村則康



総務課長
保健師も構成員である職員安全衛生委員会を活用するなど、勤務環境の整備に努めていきます。

組織に不足しているカウンセラー等を配置し、体調不調者に対する心身のケアを行い、人を活かす勤務環境に整えるべきでは。

一般費
一管理

職員健康診断事業
健康管理は配慮されているか



新たな発想の活用を

黒坂貴行



企画費

ふるさと寄附金促進事業
外部委託の効果は

企画課長
直営による人件費を抑制でき、寄附額が増えるのと委託料も増えるため、積極的な取組が期待できます。新規返礼品開拓等は、委託外です。

新規事業化した経緯と効果は。
また、新規返礼品開拓等も委託先の事業か。



展示林からつながる交流は

一宮龍彦



画
一一般経費

企画一般経費
アイルランドとの国際交流事業
について

企画課長
ホストタウン登録に向けた最終確認が遅れており、未確定の部分がありますが、事業の進捗状況を含めて報告してまいります。

新型コロナウイルスの影響で今後の事業予算の使い道が判然としていない。3380千円の内訳と費用対効果の検証を逐次報告すべき。



新たな路線の見直しは

佐藤 昇



通費
交対策

バス路線確保事業
町内循環バス路線の見直しは？

企画課長
1時間で1周する町内循環線では、ルート及び時間的に厳しいのが現状です。他路線の状況を踏まえ検討します。

芸術文化交流プラザ完成を見据えて、町内循環バス路線を豊里団地にも通過させるべきと考えるが。



木材活用の促進も！

前島英樹



支所及び出張所費

白滝支所管理事業
森林環境譲与税の使いみちに
ついて！

財政課長
森林環境譲与税の使途は、森林整備の推進、人材育成・担い手確保、公益的機能の普及啓発、木材利用の促進等とされています。この工事は支所庁舎の木壁部分を改修するものであり、木材利用の促進につながるものです。

白滝支所外壁改修工事と森林環境譲与税の目的とどのような関係があるのか？

新年度予算審議



総務部②

- 防災行政無線移動系設備デジタル化整備事業 1億6860万円
 - ・防災行政無線をデジタル化
- アイルランド交流事業 338万円
 - ・オリンピックゆかりの展示林の故郷であるアイルランドと東京オリンピック・パラリンピックホストタウンの枠組みによる交流事業
- 国勢調査事業 1497万円
 - ・5年おきに全国的に実施される国勢調査の経費



ガイドの育成も課題

秋元直樹



令和2年度は4年に1度の日本ジオパークによる再認定審査を受ける年度にあたる。前回一度条件付認定を受けた後、再認定を受けている経過を踏まえ、どのような意気込みで臨むのか？

ジオパーク推進課長

前回審査では、町内全域でのジオパークの可視化や住民参加の推進について指摘を受けました。この四年間の活動成果と課題点を確認し、再認定に向けて取り組みます。

ジオパーク推進費
ジオパーク推進事業
4年に1度の再認定審査に向けて



将来に負担の少ない財政計画を

今村則康



地方債

健全な財政運営計画の確立

臨時財政対策債を含む20事業、適債事業と認識している。当該年度末現在高見込の額は、また、将来の償還計画に確実性はあるのか。

財政課長

令和2年度末残高は約276億3800万円の見込みで、大半が交付税措置により償還の負担が軽減されるものです。遠軽町財政計画における実質公債費比率などの指標基準により、将来にわたる財政運営の健全性を確保します。



時代に見合った報酬とは

阿部君枝



年々、監査内容が増大している。合併後見直しはなかった報酬は、現状に見合った額にすべきでは。

総務課長

近隣市町村の額などを調査していきます。

査費
監査委員一般経費
監査報酬費の見直しをすべき



民生部①

- 高齢者のりもの乗車助成事業 818万円
 - ・70歳以上のバス及びハイヤー利用料を助成
- 母子保健推進事業 695万円
 - ・乳幼児の健康で健全な発育のため、股関節脱臼検診等を実施。新たに特定不妊治療を受けるための通院に要する交通費を助成。
- 遠軽ラジオ局放送機器更新工事 6987万円
 - ・ラジオ局の放送機器が更新時期となるため、2か年の継続事業で整備



町民が不都合なく手続きできるように

岩澤武征



町民がマイナンバーカードを持たないで役場窓口手続きに来た時に、不都合なことはあるのか。

住民生活課長

不都合なことは特にありませんが、顔写真が入っているので身分証明書として使うことができます。

住民基本台帳費
戸籍・住民基本台帳管理事業
マイナンバーカードを持たない不利益は？

町民の暮らしはどうなる？



より必要な人のために！

稲場仁子



高齢者費
高福祉

高齢者在宅福祉サービス事業
除雪サービス対象範囲の拡大を

予算が減額となっているが、除雪サービスについては対象範囲の拡大は検討しなかったのか。また、周知方法はどのようにするのか。

保健福祉課長
除雪サービスにつきましては現行どおり実施することとしております。また、広報、ホームページで周知するとともに、地区の民生委員のご協力をいただきながら実施していきます。



介護人材不足の解消を！

岩澤武征



福祉費
社会総務

介護人材育成事業
本気で介護人材の育成を！

町内でも介護人材の不足は明らか。研修補助程度の支援ではなく、奨学金等で育成を図るべき。

保健福祉課長
令和2年度からは介護職員初任者研修の受講に係る費用の一部の助成と併せ、実務者研修の受講にも助成するなど拡充しております。



子ども達が健康に遊べるように

秋元直樹



保育所費

保育所運営事業
全ての保育所にエアコンを

各保育所の0歳児教室と遠軽地域の保育所調理室へのエアコンを設置するための予算が計上されているが、全保育所に均等に設置されるのか。

子育て支援課長
既にエアコンが設置されている以外の必要な保育所の0歳児若しくは年少の保育室及び調理室に設置することとしています。



2年を経て開通の見通しが！

山本 悟



高齢者費
高福祉

高齢者交通費助成事業
のりものの助成券の取り扱い

いわね大橋通行止で1回2枚利用可能となっている対象地域の「のりもの助成券」を開通以後も今年はそのまま継続できないか？

保健福祉課長
いわね大橋開通後は、他の地域との関係もありますので、9月30日まで継続して行うこととしております。

経済部①



○畜産担い手育成総合整備事業

1056万円

- ・白滝地域、丸瀬布地域、遠軽地域
草地整備改良

○畑地帯総合整備事業

776万円

- ・安国地区道営土地改良事業負担金ほか

○営農飲雑用水整備事業

1億6118万円

- ・若咲内地区実施設計業務委託
(工事は令和3～4年度)
- ・豊里地区整備工事(令和2～3年度)

○いこいの森バンガロー整備工事

3970万円

- ・太陽の丘えんがる公園から移設したマッシュルームキャビンの経年劣化により、キャビン部分を改修し、高床式のバンガローに整備

○道の駅遠軽森のオホーツク整備事業

4億990万円

- ・指定管理料
- ・遊具施設等整備工事
- ・スキー場ドッグラン施設整備工事
- ・スキー場サマーゲレンデ整備工事
- ・スキー場ゲレンデ拡幅整備工事
- ・スキー場管理用道路整備工事
- ・物置用プレハブ購入

ほか

新年度予算審議

林業振興のための負担は

渡部正騎

業費
林振興

森林経営管理事業
業務増加への対応は？

森林経営に適さない森林については町自ら森林経営管理事業を実施しなければならぬが、その業務増加に対する対応策は？

農政林務課参事
専門的技術を要するため、森林組合等の協力をいただきながら、森林管理を図ってまいります。

農業振興のためさらなる支援を

山谷敬二

業費
農振興

農業関係団体助成事業
各団体への支援とは？

各農業関係団体への支援となつてはいるが何か？また、女性団体への活動・支援を後押しすべきと思うがどうか。

農政林務課長
農業後継者組織及び女性農業者団体の活動に対し、引き続き支援を行う事で、活気ある農村づくりを推進します。

経済部②

○街路新設改良事業 2048万円
・3・4・3役場通バリアフリー歩道整備工事

○道路橋りょう維持事業 3億2581万円
・西町会館通第1号橋長寿命化工事
・湯の里原野道路矢の根橋長寿命化工事 ほか

○除雪ドーザ購入事業（遠軽）3969万円

○道路新設改良事業 2億8972万円
・岩見通道路改良舗装工事
・南町4丁目1号道路改良舗装工事
・宮前2条通道路改良舗装工事 ほか

○町営住宅建設事業 3億4318万円
・末広団地公営住宅長寿命化改修工事
・水谷団地公営住宅解体工事
・学田団地公営住宅解体工事
・あけぼの団地公営住宅解体工事 ほか

事業者が求めるものは

渡部正騎

業費
商振興

商店街助成事業
小規模事業者のニーズにあった制度設計を

各支援制度の利用状況やニーズ把握した中で、利用が少ないと考えられる制度について、制度の見直しを検討したいとのことだったが、その検討結果は。

商工観光課長
特産品等開発支援事業補助金について、一層の活用がなされるよう見直しを検討しています。

企業会計

水道及び下水道事業
○水道管布設工事等 1億7030万円
○清川浄水場滞水池建設工事 5億8300万円
○公共下水道工事等 1億7406万円
○遠軽下水処理センター設備更新事業 3億円

**安心・安全な
ライフラインを
守るために！**

今後のまちづくりは？

魅力ある観光振興のために



黒坂貴行



観光費

観光関係団体助成事業
助成の拡大は

丸瀬布総合支所産業課長
本年度は上武利地区の観光施設の展示品入替えを予定しており、今後助成要綱の廃止も含めて検討しています。

条例で予算の範囲内で補助ができるが、観光振興を図るために他施設への補助を拡大できないか。



魅力あるステージイベントの継続を

阿部君枝



観光費

地域イベント事業
太陽の丘イベント補助金について

芸能人招へいについて、これまで「2人以上」としていたのを「1人又は2人」に見直しています。

商工観光課長

町内外からの来場者約1万人のコスモスフェスタステージイベントは、毎回好評である。一部見直しで減額とあるが、内容に影響は出ないか。

教育部①



- 校務支援システム導入費 286万円
・学校における働き方改革を進めるため、「校務」業務全般を実施するためのシステム
- 瀬戸瀬地域スクールバス更新 468万円
- 南中学校バリアフリー改修工事 470万円
・1・2階、体育館トイレを洋式に改修等
- 生田原学校給食センターボイラー改修工事 760万円
- 基幹集落センタートイレ改修工事 314万円
・トイレを洋式に改修
- 芸術文化交流プラザ指定管理料 627万円



校務支援システムの効果は？

佐藤 昇



育費
教振興

教育振興一般経費
先生方の負担は減るのか

業務負担が大きいとされる通知表や指導要録の作成、児童生徒の所見管理作業の軽減が見込まれます。

教育部総務課長

公務支援システムを導入することによって教職員の負担軽減はどの程度図られるのか。

全地域の教職員住宅の水洗化は？



山谷敬二



事務局費

教職員住宅管理事業
教職員住宅のトイレ水洗化について

教育部総務課長
非水洗化のトイレが多い生田原地域の教職員住宅については、管理職住宅から浄化槽設置を検討します。

令和2年度に丸瀬布教職員住宅のトイレが水洗化することになっており、残る生田原地域の教職員住宅の計画は？



町内通学者への支援も

前島英樹



育費
教振興

教育振興一般経費
遠軽高等学校にさらなる支援を！

今のところ町内通学者の助成についての考えはありませんが、別な形での支援について検討していきたいと考えます。

教育部総務課長

5間口存続のためにも更なる支援が必要と考えるが、公共交通機関を利用している通学者に対し、通学費の助成をする考えはあるか。

新年度予算審議（つづき）



給食の地産地消を

佐藤 登



小中学校
給食費

学校給食管理事業
町内業者の食材の活用を

学校給食センター所長
学校給食の食材につきましては、従来から町内業者を優先して購入し、地元食材も活用しております。今後もさらに町内業者及び地元食材を活用できるよう努めてまいります。

学校給食における賄材料の購入について、町内業者や地元食材の活用を高めるべきではないか。



長年の懸案事項の解消を!

高橋義昭



校費
建設費

小中学校建設事業
計画的なグラウンド改良整備を

長年の懸案事項である町内各小中学校の排水性の悪いグラウンドを改良するべきではないか。

教育部総務課長
グラウンド改良整備につきましては、予算や改良条件等を考慮しながら、前向きに検討します。



思い出に残る成人式とは

山本 悟



社会教育
総務費

成人式事業
成人式典の行事について

社会教育課長
成人式については、成人年齢が変わることから、併せて内容を検討することとしていますが、式典は厳粛に行うものであると考えております。

来年以後の成人式典において、参加する成人者が喜ぶ芸能人などを招待し、お祝いの事業を企画してはどうか？



町民により多くの機会を

佐藤 登



社会教育
総務費

講演会・講座研修事業
講演会の開催を多くすべきでは

文化講演会等の開催が少ないので、近隣市町村に行く人が多いと聞く。もっと回数を増やすべきではないか。

社会教育課長
講演会の実施回数については、新たにできる町民センターの運営状況も踏まえ検討します。

議会を傍聴してみませんか？

定例会は、年4回（3月・6月・9月・12月）
臨時会は必要に応じて随時開かれます。

今、どのようなことを話し合い、決めているのか。
子や孫の未来はどうなるのか。その答えはここにあります。

常任委員会を傍聴してみませんか？

遠軽町議会では、「総務・文教」、「民生」、「経済」、「議会運営」の各常任委員会を設置しており、毎月、最低でも一つの委員会が開かれています。定例会に関する議題はもちろん、今、町ではどのようなことが課題で、どのように話し合っているのか、是非傍聴にいらしてください。

※日程は、議会事務局に問い合わせるか、ホームページでご確認ください。



令和2年
第1回定例会
3月5日～13日

令和2年3月開催の第1回定例町議会は、5日に招集され13日まで9日間の会期で開催し、冒頭、佐々木町長と河原教育長から施政執行方針の表明がありました。

審議案件の主なものは、表彰2件、計画の策定1件、条例の一部改正13件、町道路線の変更が1件、令和元年度一般会計などの補正予算7件、令和2年度各会計予算7件、追加議案5件が提出され審議しました。

一般質問は1人の議員からあり、町政について質しました。

また、民生常任委員会に付託されていた「遠軽町合葬墓条例の制定について」は、原案のとおり可とする報告がありました。

主な内容

国の補正予算に対応
GIGAスクールに
係る予算を補正

条例改正

◆遠軽町へき地保育所条例の一部改正について

令和2年3月31日をもって瀬戸瀬保育所を廃止するための改正をするものです。

◆遠軽町老人憩の家条例の一部改正について

令和2年3月31日をもって安国老人憩の家を廃止するための改正をするものです。

◆遠軽町介護保険条例の一部改正について

令和元年10月からの消費税率の引上げに鑑み、低所得の第1号被保険者介護保険料の軽減を強化する改正をするものです。

◆遠軽町町営住宅管理条例の一部改正について

町営住宅の入居決定者から徴取する請書に連帯保証人の連署を不要とするほか、日進団地駐車場の使用料を定める改正をするものです。

◆遠軽町定住促進住宅管理条例の一部改正について

定住促進住宅の入居決定者から徴取する請書に連帯保証人の連署を不要とする改正をするものです。



◆遠軽町道の駅遠軽森のオホーツク条例の一部改正について

えんがるロックバレースキー場に設置する遊具等施設の使用料を定めるための改正をするものです。

補正予算

令和元年度一般会計補正予算（第8号）について主なものをお知らせします。

○基金運営事業

・まちづくり振興基金積立金 1670万円

・指定寄附金11件、ふるさと納税寄附金991件です。

・森林環境譲与税基金積立金 2400万円

国から交付された森林環境譲与税額全額を積み立てるものです。

○道の駅遠軽森のオホーツク整備事業

500万円

・ロックバレースキー場環境整備業務委託料
駐車場の追加整備に係る実施設計経費の追加です。

○教育振興一般経費

86万円

・学校行事負担金

丸瀬布中学校の全日本リコーダーコンテスト（東京都）及びアンサンブルコンテスト（福井県）出場分に係る経費です。

○小学校備品購入事業

1644万円

・備品購入費（パソコン等）

○小学校建設事業

1億1360万円

・小学校情報通信ネットワーク環境整備工事

○中学校備品購入事業

774万円



全国一律のICT環境整備に向けて

・備品購入費（パソコン等）

○中学校建設事業

8594万円

・中学校情報通信ネットワーク環境整備工事

いずれも、国によるGIGAスクールに係る児童生徒1人1台のパソコン等整備のための導入費用及び各学校内ネットワーク環境の整備に係る工事請負費です。

○保健体育各種大会参加費助成事業

50万円

・社会体育振興補助金
全国小学生タグラグビー選手権大会及びスノーボード世界大会出場に係るスポーツ振興事業補助金です。
（全会一致可決）

表彰

遠軽町表彰条例により、次の方を表彰することに
ついて、原案のとおり可

決しました。

◎社会功労（公共のため30万円以上の寄附した個人）

・東京都渋谷区

井門 義博 様

（森林公園いこいの森
鉄道車両整備資金）

・東京都杉並区

岩崎 正敏 様

（森林公園いこいの森
鉄道車両整備資金）

計画策定

◆第2次遠軽町総合計画
後期基本計画を定めること
について

平成27年度から令和6
年度まで10年間の計画期
間のうち、後期5年間で
定めるものです。

人事

◆副町長の選任

舟木 淳次 氏
の選任に同意しました。

民族共生社会を 作り上げていく

―決議書を決議―

議員提案により決議書
が提出され、可決しまし
た。

「民族共生の未来を切り
開く」決議
（提出者等 竹中議員ほ
か4人）

民族共生象徴空間「ウ
ポポイ」が開設されるこ
の機会に、アイヌの人々
の誇りが尊重される社会
の実現が図られ、北海道
が魅力ある大地であり続
ける決意を表明する。



アイヌ文化の振興と相乗効果を期待

議会改革先進 事例から学ぶ

議会議員研修会開催

1月29日、議会委員会
室において令和元年度議
会議員研修会を開催しま
した。

今回は、斜里町議会議
長金盛典夫氏を講師に招
き、「議会改革の成果等
について『地方議会の現
状と課題―斜里町議会の
改革に向けて―』と題し
ご講演いただきました。

斜里町議会は、町民か
らの声や平成27年の町議
選で無投票になったこと
への危機感から、「議会
のあり方調査特別委員
会」を設置し議会改革に
取り組まれてきました。

取り組みの一つである
「議会モニター制度」の
導入では、平成31年春の
統一地方選においてモニ
ターとなった町民が町議
に立候補し選挙戦になる
など一定の成果があり、
今回の研修会には、モニ

ターから町議になった2
名の議員も来町し意見を
交わしました。

講演では、委員会での
協議から課題の洗い出し、
そして実施してからの問
題点の検討など、実際に
取り組んだ当事者ならで
はの講話のほか、現在取
り組んでいるICT化の
説明もあり、各委員から
は活発な質疑がありまし
た。

本町においても、前号
で特集したように「議員
のなり手不足」の問題や
議会のICT化も課題で
あるため、大変意義のあ
る研修会となりました。



有意義な研修となりました

町政を^{ただ}質す!!

令和 2 年第 1 回町議会(定例会) 一般質問には、1 人の議員が登壇し、多岐に渡り白熱した議論が展開されました。 ※一部要約して記載

一般質問



阿部 君枝 議員

教職員の働き方改革はどのように進めるのか

15

ここが聞きたい!

一般質問とは？

一般質問は、町の行政全般(一般事務)に関し、執行者所見や疑義について質問できるものです。質問する議員も、受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしています。

本町議会では質問と答弁がかみ合うように、全文通告制がとられています。

再質問からは、一問一答方式が採用されており、回数に制限なく質問時間を一議員 30 分以内としています。

ただ 町政を質す!!

一般質問

阿部 君枝 議員



問

教職員の働き方改革はどのように進めるのか

答

教師が自信と誇りを持てる勤務環境を確立していく

問 平成28年度文部科学省の教員勤務実態調査の結果によれば、小学校の教師は年間800時間、中学校は1100時間程度の時間外勤務を行っています。

子どもに関することは全てを学校で対応してほしいといった保護者や地域の意識に比べると、今、学校は「ブラック職場」などと言われています。

昨年の第200回臨時国会において、公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法が改正されました。

時間外勤務を月45時間、年360時間以内とする上限ガイドラインが法的な根拠のある「指針」となり、衆・参両議院による附帯決議において「各地方公共団体に対して、指針を参酌した上で

条例・規則等そのものに教育職員の在校等時間数を定めるよう求めること」が盛り込まれました。学校における働き方改革は、行政、学校、保護者、地域が認識を共有して当然ならなければならない「総力戦」です。

1 本町における在校時間

間等の適正な把握の状況はどのようになっていますか。

2 町立学校に関する学校管理規則において具体的な上限を明記する準備は進んでいますか。

3 町として、来年度、学校における働き方改革を具体的にどのように進め、そのために教育委員会や学校をどのように支援しようと考えていますか。

教育長

1 町教育委員会では、平成31年3月に町内全ての学校において、家庭・地域・行政と連携し、教

員が本来担うべき業務に専念できる業務改善の方向性を示した「遠軽町立学校における働き方改革推進計画」を作成しております。

教職員の勤務時間の把握については、校長・教頭による現認把握（記録）により行っています。

2 服務監督権者である教育委員会において、「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」に基づき、遠軽町学校管理規則の一部を改正し、令和2年4月1日付で施行する予定です。

3 教育に生きがいを感じ、教育に携わること

天職と考える教師が自信と誇りを持って教壇に立てるように、勤務環境を確立していきます。

具体的な支援として、環境整備として、教育専門相談員・不登校児童生徒指導員や特別支援教育支援員の配置、ICTによる共有された教材等の活用を充実させ、更に令和2年度中には、校務支援システムの導入などを実施していきたいと考えています。

教育の質を上げるために
教師の勤務環境の確立を



各常任委員会で審議した主な項目について掲載しています。

常任委員会 レポート

総務・文教

教育現場での効果的な 先端技術の活用を！

GIGAスクール 構想の実現

現代を生きる子どもたちにとって、教育現場のICTを基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められる一方で、現在の学校ICT環境の整備は遅れており、自治体間の格差も大きい。令和時代のスタンダードな学校像として、全国一律のICT環境整備が急務とされている。

このため国は、1人1台PC端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、並行してクラウド活用推進、ICT機器の整備調達体制の構築や、PDCAサイクル徹底等を進めることで、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に一人ひとり最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させようとしている。

令和時代の スタンダードな 学校像を



多様な子どもたちを
誰一人取り残すことのない学びを



令和2年度（令和元年 度から繰越）事業の概要

① 校内通信ネットワーク整備事業

小・中学校等に校内LANを整備する。

本町は、小学校7校、中学校6校を計画。

② 児童生徒1人1台端末の整備事業

小・中学校等の児童生徒が使用するPC端末を整備する。

本町は、小学5・6年生分274台、中学1年生分129台の導入を計画。

※国からの補助金は令和元年度ですが、予算を令和2年度へ繰り越し（これを繰越明許と言います）、令和2年度に事業を実施します。

この案件を含め委員会を4回開催、案件28件について審議しました。

常任委員会 レポート

民生

子育てが つくる・つながる にぎわいのまち

第二期子ども・子育て支援事業計画の完成

第二期遠軽町子ども・子育て支援事業計画は、近年の社会潮流や本町の子どもを取り巻く現状、第一期計画の進捗状況等を踏まえ、今後の地域子ども・子育て支援事業を計画的に確保することや、子どもの健やかな育ちと子育てを社会全体で支援する環境を整備することを目的に策定するもので、計画の期間を令和2年度から令和6年度までの5年間としている。

5年間の取り組み課題（主なもの）

①質の高い幼児期の教育や保育の総合的な提供認定こども園への助成を行い施設整備が行われたが、公立保育所については、一番新しい施設でも建設後20年が経過しており、遠軽地域について

老朽化した施設の 検討も課題



遠軽幼稚園は、新たに認定こども園として令和元年度に完成

は、全ての施設が40年以上経過し老朽化しているため、統合も含めて今後検討が必要である。

②保育の量的拡大・確保
③地域の子ども・子育て支援の充実

利用者支援事業については、子育て世代包括支援センターの設置が法定化され令和2年度末までに全国展開をすることとなっているため、本町においては、子育て世代包括支援センターの設置に合わせ母子保健型による実施に向けた検討が必要である。

放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）については、遠軽地域では利用児童の増加に伴い施設が手狭で老朽化しているため、学校の空き教室などの活用も含め、他の施設での事業の継続を考えなければならない。

この案件を含め委員会を3回開催、案件27件について審議しました。

常任委員会 レポート

経 済

小規模事業者の さらなる振興のために



小規模事業者がより利用しやすい制度とは？
(えんがる商工会との意見交換)

所管事務調査の
充実を目指して

現在経済常任委員会では、後半となる任期から所管の事務調査をより充実させるべく、委員会開催数を増やし協議を重ねている。

小規模事業者が成長
発展するためには

その中で、町内企業者の内でも多数を占める小規模企業者は、昨今の経済動向に対応するため、商工会及び商工会議所と相談しながら持続的な経営計画に基づき補助金を活用している状況である。

そのような中、小規模企業者からは、より活用しやすい町の制度を求める声もあることから調査を行うこととした。

商工会・商工会議所は

調査を進めるにあたり、本件に携わるえんがる商工会、遠軽商工会議所の考えや、どのような



小規模事業者を中心とした振興策とは？
(遠軽商工会議所との意見交換)

問題を抱えているのかを聞くために委員会として訪問したところ、熱心な意見交換となった。
町独自の施策の要望など様々な意見が交わされたが、今後も引き続き調査を進めていきたい。
この案件を含め委員会を5回開催、案件28件について審議しました。

議会運営委員会

道内行政調査 特別レポート

町民との対話で作り出す 町の未来に向けて

議会運営委員会

道内行政調査
2月4日～5日

議会運営委員会は、現在「議会の改革・活性化等について」を継続的に協議しているなかで、特に「議員のなり手不足について」、「議会報告会の在り方について」を重点的に取り組むことにした。

そこで、議会活性化による魅力向上と合わせて議員のなり手不足の解消に取り組んできた浦幌町議会による「まちなかカフェDE議会」など「意見聴取・参加・提言」を中心とした議会活性化の実績等を視察調査し、今後の本町議会運営の参考とすることとした。

議員の意識改革を
委員長による所見総括

「議員のなり手不足」に対しての意見交換では、一期目の議員から、先輩議員が議員になりや

議会活性化の

「これから」を前進

質疑や意見が熱心に交わされました！
(浦幌町議会議員との意見交換の様子)



やすい環境づくりをしてくれた事に、感謝の言葉が述べられたことには感銘を覚えた。

議会報告会は、まちなかおじゃまDE議会等を開催し、町民の集う場に出向き回を重ねることで課題を見出し改善し、町民の参加者を徐々に増やした点は参考になった。

様々な挑戦と持続、何よりも議員の意識改革により、町民のためにいかに議会の機能を果たせるかが重要である。

今回の、視察調査で得た事柄を参考にし、遠軽町議会として出来ることから実践して参りたい。

この案件のほかに委員会を4回開催、案件9件について審議しました。

まちなか
カフェDE議会

浦幌町議会で行われている
「カフェDE議会」の看板



子育て世代がもっと暮らしたくなる町に

えんがある話 (まちの声)

○遠軽地域在住

ドッグサロン加奈

代表

○川田 加奈子さん

1児の母として、また個人で犬の美容師(トリマー)として、子育てと仕事に奮闘している川田加奈子さんにお話を伺いました。

仕事の内容は

小型〜中型犬の毛のカット(トリミング)、爪切り、犬のホテルを行っています。平日は4〜5件、土日は8〜9件の対応を行っています。土日は件数が多いので、私とアルバイトの方の2名体制で仕事を行っています。

現在の仕事を行うこと

になったきっかけは

本当は獣医になりたかったのですが、難しくてあきらめました。ただ、動物関係の仕事はしたかったので、イルカの調教師とも考えましたが泳げないなと(笑)。色々考えた結果、トリマーを選びました。

お店を始めて気づいたことは

このお店には私の代わりはいないということです。

札幌でもトリマーをしていましたが、働かせてもらっていた側でしたので、自分で店を持つて自分ですべてやろうとしたとき、オーナーの大変さや責任の重さがわかるようになりました。

体は丈夫な方なので、ほとんど休んだことはありませんが、個人の店だからこそ「いつでも休める」のではなく、責任をもつて「いつでも開けていたい」です。

開業時は一人でしたから、辛い時とかは誰にも

相談することができず、本当にきつかった時もありません。今はアルバイトの方と一緒に仕事をしているの、精神的にも助かっています。

今後の夢は

自分にはこの仕事しかないの、ずっとこの場所での仕事を続けていきたいですね。ただ、子どもにトリマーの仕事をやらせたくはないですね。猛反対します(笑)

以前、一度だけトリマーの仕事から離れ、子犬販売の仕事もしたことがありますが、すぐそばでトリマーをやっている人の姿を見て、「やっぱりトリマーをやりたい」と、自

分の思いに気が付いて今に至っています。

町や議会に要望は

町内に広いドッグランがあるといいですね。私の店の前にも砂利をひいた小さなドッグランがありますが、犬はやはり芝生のドッグランを喜びます。芝生で自由に走り回ることのできるドッグランがあるとお客様も喜ぶと思います。

町民が使えるフリーWiFiがもっとあればと思います。今は情報を得るのはインターネットですが多いので、子育て世代としてはありがたく思います。

国民健康保険税がだんだん高くなっているため、年々負担が増大しています。子育て世代の負担が軽くなるようなものがあるといいなと思っています。

私もこの町で生まれ育って今は子育てをしていますので、この町がもっと住みやすくなることを祈っています。

今月の表紙

今月の表紙は、令和2年3月末をもって閉所した瀬戸瀬保育所修了式・閉所式の様子です。

瀬戸瀬保育所最後の園児となった2人は、少し緊張した面持ちながらも、これまでの保育所の楽しかった思い出を元気な声で発表し、お世話になった先生や地域の皆さん、そしてお父さん・お母さんに立派に挨拶すると、たくさんさんの思い出とともに親しんだ園舎を後にしました。

えんがる議会だより 第58号

令和2年5月1日発行

発行/遠軽町議会

〒099-0492 遠軽町一条通北3丁目

編集/遠軽町議会広報特別委員会

印刷/(株)遠軽新聞社